

事業番号	14 09 10	事業改善シート（24年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	競技力向上事業費				担当課	部局	教育委員会事務局
						課・室	スポーツ課
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト	7-3 生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づくり 3 スポーツの振興			E-mail	sports-ka@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開				実施期間	S53 ~	

### 1 事業の概要

目指す姿	県民のスポーツに対する関心とスポーツ活動への参加意欲を高めるため、国際大会や国体等の全国大会での活躍が期待される競技者を育成・強化し、競技力の向上を目指す。		
現状	<p>○競技団体は本事業を活用して継続的な競技力向上に取り組んでおり、その結果、優秀な競技成績を収めている団体も見られるが、安定的な競技力を維持するためにも、各競技の特性に応じた一貫指導体制などの育成システムの確立に向けた支援を続ける必要がある。（一貫指導体制：幼少期から成人期までの発達段階に応じ、計画的・継続的に技術の向上を目指すシステム）</p> <p>○長期的・安定的な競技力の基盤を築くためにも、ジュニア期の人材発掘と競技人口の拡大に向けた取組を進める必要がある。</p>		
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他( )	<b>【左記の説明、根拠法令等】</b> 社会体育振興事業補助金交付要綱	

事業内容	① 成果目標(H24)						
	<input type="checkbox"/> 国民体育大会総合成績 17位以内 <input type="checkbox"/> 国体等におけるジュニア入賞者数 165人						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H24事業実績	H24		H25
					(当初)	(決算)	(当初)
		競技力向上事業補助金(国体選手強化)	補助金・交付金	各種競技大会で入賞を目指すための活動に対する助成	68,500	68,500	68,500
		冬季競技強化事業補助金	補助金・交付金	冬季オリンピック種目に特化した選手強化活動への助成	4,000	3,949	0
		北信越国体対策事業補助金	補助金・交付金	北信越国体での出場権獲得の可能性の高い競技種目への強化やコンディショニング調整への助成	8,000	8,000	5,600
		競技力向上事業補助金(馬匹管理補助)	補助金・交付金	県有馬の管理に係る経費への助成	1,920	1,920	1,920
		特殊競技用具整備事業補助金	補助金・交付金	各種競技用具整備への助成	1,550	1,550	1,550
	次世代トップアスリート育成支援事業	補助金・交付金		0	0	5,325	
	マルチサポート事業	補助金・交付金		0	0	2,066	
	ジュニア競技力向上事業	補助金・交付金	各競技団体への負担金(合宿及び対外試合による強化事業)	16,388	16,388	16,388	
	長野県冬季アスリート発掘・育成事業(SWANプロジェクト)	補助金・交付金	SWANプロジェクト実行委員会への負担金	4,000	2,617	4,009	
			合計	104,358	102,924	105,358	

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	現況(見込)	H24			H25目標
		当初予算	100,557	92,272	104,358	105,358			目標	成果	達成状況	
		補正予算					国体総合成績	17位	17位	17位	達成	16位
		合計(A)	100,557	92,272	104,358	105,358	ジュニア入賞者数	169人	165人	178人	達成	182人
	Aの財源	国庫支出金										
		県債										
		その他(繰入金)	3,000	3,500	4,000	3,068						
		一般財源	97,557	88,772	100,358	102,290						
		決算額(B)	100,557	91,488	102,924							
概算人件費	職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30							
	概算人件費(C)	2,495	2,477	2,477	2,477							
	概算事業費(B(A)+C)	103,052	93,965	105,401	107,835							

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国体天皇杯順位17位であり、5年連続の10位台を維持し、目標を達成できた。</li> <li>・国体冬季大会については、2位の高い水準を維持している。</li> <li>・ジュニア全国大会入賞者数は、中学生スキー競技の活躍により178人と目標を大きく上回った。</li> </ul> 以上により、期待通りであった。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技団体は本事業を活用して継続的な競技力向上に取り組んでいる。しかし、安定的な競技力を維持するためにも各競技の特性に応じた一貫指導体制などの育成システムの確立に向けた支援を行なう必要がある。</li> <li>・安定的な競技力の基盤を築くために、ジュニア期の人材発掘・競技人口の拡大と育成に向けた取り組みに支援をする必要がある。</li> <li>・ジュニア層が希望を持てるよう、国際舞台で活躍する選手を支援し、それに続く選手の育成を目指す。</li> <li>・国体へ出場する選手へ、医科学をはじめマルチサポートにより、コンディショニング調整等、ベストの状態での競技できるよう支援する。</li> </ul>